

## 2008年JMRC中部第1回ラリーセミナー報告

開催日時：2008年03月02日(日) 09:00～18:30

開催場所：座学…愛知県名古屋市名東区藤里町1601番地

サンプルザシーズンズ 2F 蓬莱の間

実地…愛知県豊田市内

参加人数：9組18名（申込は10組19名）

今年のラリーセミナーはラリー界の現状を踏まえ、「ペースノート」にテーマを絞り、特に初心者・初級者を対象として行なうこととなっている。そのような中、2008年第1回目のラリーセミナーが、愛知県内において03月02日(日)に開催された。

主に愛知県内と北陸から参加頂いたが、近畿（大阪）からの参加も1組あった。ヴィッツラリーからも2組参加頂いた。これら参加者のうち、ラリーは全く初めてである初心者は6名程で、ラリー経験者が初心者を連れて参加という組合せが多かったが、地方選手権以上の経験者はわずか5名であり、初中級者に多く参加頂いた形となった。

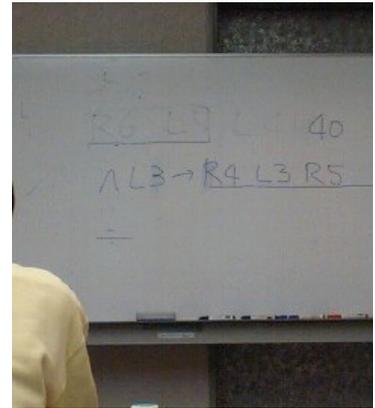
なお、今回は全日本ラリーの現役選手である眞貝知志選手（参加者）、近畿の廣瀬康宏選手、谷内壽隆選手および中村信博選手（引率兼視察）が来場していたので、ご協力頂くこととした。

今回のセミナーは、米谷ラリー部会長の挨拶の後、午前中は講師自家製のテキストを用いた座学を行ない、午後からは交通量のほとんど無い道へ移動して、実際にペースノートの作成作業を行なった。その後、もう一度座学会場に戻り、再度講義を行なった。

座学に関しては、ペースノート自体をきちんと作れるようになることを目的として、ペースノートとは何か、どのように作成（表現）すればいいのか、作成の際の小道具など、極々基本的な事項について重点的に講義を行なった。



午後からは実技



座学のひとコマ

特に、ノート作成のノウハウ的なところについては全日本選手陣の実際を披露頂いたりして、非常に密度の濃い内容になったと思われるが、現役全日本選手でも悩むような質問も飛び出したりして、講師側としても改めてペースノートの奥深さを再認識した次第であった。

午後のペースノート作成作業は、1本の道を往復

で使用して、まずは1 km程度の短い距離で雰囲気や感覚をつかんでもらい、少し慣れたところで約3.5 kmの中距離でノート作成を行なうようにした。なお、全開走行は行なわなかったが、念のための一般車両対応として、各枝道には人員を配置した。

なお、この実技においても全日本選手陣にお手伝い頂いた。

各参加者は果敢にレッキにアタックしていたが、やはり実際の道は単純ではないため、「いや～、やっぱり難しいなあ！」という言葉も出ていたが、その顔は真剣な笑顔であったように思われる。

また、折り返しの待ち時間には参加者同士でコミュニケーションが取られており、このような点でも非常に有意義であったと考えられる。



ノート作成中



合間のコミュニケーション

- ・このようなセミナーはなかなか無いので、もっと開催して欲しい。
- ・作るだけでは、それが妥当かどうか分からないので、走れるようにして欲しい。

講師側としては、今回、独自で資料を作成したが、インターネットで検索してみても参考になるようなHPは2つくらいしかなく、意外と情報が無いものであると感じた。確かにペースノートはノウハウ的な要素が多いと思うが、それがゆえに初心者には敷居が高いものであると思われていた可能性もある。従って、今回のような試みは画期的なものであると考えられる。

最後に、今回のセミナーにあたり、座学などで貴重なノウハウを披露して頂いた眞貝、廣瀬、谷内、中村の各現役全日本選手、ペースノート作成実技にあたってオフィシャルを努めて頂いたMASCクラブ員各位、本報告書作成にあたって画像を提供して頂いた「坊主式号」氏および「ちきん」氏には深く感謝する次第であります。

JMRC 中部 WEB SITE : <http://www.jmrc-chubu.gr.jp/>

文責 : JMRC 中部ラリー専門部会 事務局長 船木一祥

写真協力 : 「坊主式号」氏、「ちきん」氏